

# 体育科学習指導略案

1年3組 28名 指導者 出 末 淳一郎

本授業では、以下の検証を行うものである。

- マット・跳び箱を使った様々な運動遊びをとおして、子どもが動きを自分なりに工夫するための、「コツ図」や「コツ板」、「簡易化した教材・教具」の手立ては有効であったか。
- 子どもが進んで学習に取り組んだり、安全に活動したりするために、学習におけるしつけは有効であったか。

## 1 単 元 ぴよんぴよんコロコロ 忍者修行の巻「マット・跳び箱を使った運動遊び」

### 2 指導計画（総時数6時間）

過程	主な学習活動【評価規準】								
一 次	<p>1 オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マット・跳び箱を使った運動遊びの目標や学習計画を知る。</li> <li>・マット・跳び箱を使った運動遊びのきまりを知る。 (マット・跳び箱や補助具の準備の仕方, 補助・見学の仕方)</li> <li>・これまでのいろいろな運動や遊びの経験を思い出す。</li> </ul> <p>これまでの運動経験を基に、できそうな動きや遊びについて想起させ、学習に対する関心や意欲を高めることができるようにする。想起した運動や遊びに必要な動きについて考える場を設けて、これまで運動の経験で得た知識を共有できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マット・跳び箱を使った運動遊びの楽しみ方を考えて、自分なりのめあてを立てる。</li> <li>・マット・跳び箱を使った運動遊びに必要ないろいろな基礎となる動き体験する。</li> </ul> <p>【態：きまりを守りながら友達と仲よく運動したり、場の安全に気を付けたりすることができる。】</p>								
二 次 (本時)	<p>2～5 学習の進め方を確認し、運動遊びに取り組む。 スキルタイム</p> <p>運動遊びに必要な基礎となる動きのコツに気付かせたり、身に付けさせたい動きについて習熟を図ったりすることができるように繰り返しの学習を設定する。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">2 ゆりかご</td> <td style="width: 25%;">3 (本時) 時計回り</td> <td style="width: 25%;">4 かえるの足打ち</td> <td style="width: 25%;">5 うさぎ跳び</td> </tr> <tr> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td></td> </tr> </table> <p>体を接触させる動き      両腕で支える動き 体を締める動き      逆さになる動き      着手や切り返す動き</p> <p>ねらいをもとにした活動</p> <p>ねらいをもとにした活動では、今できる動きで忍者修行の場を楽しんだり、できるようになりたい動きに挑戦して新しい忍術を身に付けることができるようにする。</p> <p>(ねらい1) マット・跳び箱を使ったいろいろな運動遊びをして楽しむ。 (ねらい2) マット・跳び箱の置き方や補助具の使い方を工夫して、いろいろな動きや遊びに挑戦して楽しむ。</p> <p>【思・判：マット・跳び箱を使った様々な運動遊びに挑戦したり、マット・跳び箱の置き方や補助具の使い方を工夫したりして、上手に体を動かしながら楽しく遊ぶことができる。】</p>	2 ゆりかご	3 (本時) 時計回り	4 かえるの足打ち	5 うさぎ跳び	→	→	→	
2 ゆりかご	3 (本時) 時計回り	4 かえるの足打ち	5 うさぎ跳び						
→	→	→							
三 次	<p>6 マット・跳び箱を使った運動遊びの発表会をする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表会へ向けての動きの確かめをする。</li> <li>・活動を振り返り、生活への生かし方を考える。</li> </ul> <p>活動を振り返り、自分なりのめあてをもって活動できたことを称賛し、自分の動きや状態の変化や伸びについて発表できるようにする。</p> <p>【技：いろいろな方向に転がったり、跳び乗りや跳び下りたりする運動を楽しく安定した動作で行うことができる。】</p>								

体  
育

## 6 本 時 (3/6)

### (1) 目 標

安全に気を付けたり、友達と協力したりして楽しく運動遊びを行いながら、マット・跳び箱を使った運動遊びに必要な動きを身に付けることができる。

(2) 評価規準

マット・跳び箱を使った運動遊びに必要な動きを工夫したり、マット・跳び箱の置き方や補助具の使い方を工夫したりして楽しく遊ぶことができるようにする。【運動や健康・安全についての思考・判断】

(3) 指導に当たって

本時の学習では、「かんかくタイム」において、ゆりかご、時計回り、かえるの足打ち、うさぎ跳びなど、「体を接触させる動き」や「腕で体を支持する動き」、「跳び乗ったり、跳び下りたりする動き」を身に付ける運動を継続的に繰り返し行うことで、前転がり、後ろ転がり、支持でのまたぎ乗り・またぎ下り、支持での跳び乗り・跳び下り、跳び越しなどに必要な基礎となる動きを身に付けることができるようにする。ねらいをもとにした活動では、意欲的に運動に取り組むことができるように教材・教具を簡易化した工夫・忍者修行の場を設定したり、一人一人が体の部位に着目しながら視点をもって考えることができるように「こつ板」を活用したりする。また、ペア、グループなど活動形態を工夫しながら運動遊びに取り組むことで、協同的な「学び合い」を活性化し、主体的に取り組もうとする態度を高めたり、技能の向上を図ったりすることができるようにする。さらに、子どもたちの気付きや感想を発表する場を設定し、体を動かす楽しさや心地よさに気付くことができるようにする。

(4) 本時の展開 □重点化するスキル [ ] 子どもの意識 ○指導の手立て ※評価

時間		主な学習活動と指導の手立て	
つかむ・見通す	5	<p>1 本時のねらいを知り、活動のめあてをもつ。</p> <p>いろいろな方向に転がったり、跳び方や下り方を工夫したりして楽しく忍者修行をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな方向に転がって、ゆらゆらコロコロの術を身に付けたいな。</li> <li>高いところに跳び乗ったり、遠くへ跳び下りたりしたいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習のめあてや流れ、活動を確認するために体育黒板を活用し学習の見通しをもつことができるようにする。</li> <li>準備運動は体ほぐしの運動を含めて行い、マット・跳び箱遊びに必要な動きを中心に体や心をほぐすことができるようにする。</li> <li>転がりや跳び乗り・跳び下りなどの運動に必要なコツを「コツ板」にまとめ、体の部位に着目しながら、動きを工夫することができるようにする。</li> </ul>
挑戦する	35	<p>2 準備運動・体ほぐしの運動を行う。</p> <p>3 <b>かんかくタイム</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体を順番に付けると、なめらかに転がれそうだ。</li> <li>手のひらをびんと伸ばして、肘にぐっと力を入れると、上手に体を支えられそうだ。</li> </ul> <p>4 ねらいをもとにした活動を行う。</p> <p><b>ねらい1</b></p> <p>マット・跳び箱を使ったいろいろな運動遊びを楽しもう。</p> <p>(1) 転がったり、跳び乗りや跳び下りたり、いろいろな運動に挑戦する。</p> <p>(2) ねらい2の活動について知る。</p> <p><b>ねらい2</b></p> <p>動きを工夫したり、用具の置き方を工夫したりして、新しい忍術に挑戦しよう。</p> <p>(1) 自分に合った場を選び、できそうな動きに挑戦する。</p> <p>(2) 動きや行い方のコツを確かめたり、見付たりしながら、練習する。<b>多面的に見る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手は、手のひらをびんと伸ばして、肘にぐっと力を入れると体を支えられそうだ。</li> <li>足の裏でしっかりと着地すると、ぴたりと止まれてかっこいいぞ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今できる転がりや跳び乗り・跳び下りなどの動きに楽しく取り組ませ、十分な充足感を味わうことができるようにする。</li> <li>協同的な「学び合い」に取り組ながら学習を進めていくことができるように、動きを見る視点を与え、お互いに教え合うことのよさを価値付ける。</li> <li>運動について、動かしている体の部位など、複数の視点に気付き、「コツ図」を用いて、部位ごとの動きのコツについて考えることができるようにする。</li> </ul> <p><b>※ 動きや行い方を工夫したり、友達と協力し合ったりしながら、楽しくマット・跳び箱を使った運動遊びに取り組むことができる。(観察)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>動きや行い方を工夫したり、友達と教え合ったりできた子どもを称賛し価値付けを行う。</li> <li>マット・跳び箱を使った運動遊びの楽しさやできた喜びを味わうことができず、活動に消極的な子どもには教師が補助をし、一緒に行うようにする。</li> </ul>
		<p>5 整理運動、振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>かんかくタイムで繰り返した動きや分かったコツをつかえば、上手に跳び乗れそうだぞ。</li> <li>新しい動きができるようになると、うれしくなったよ。もっと違う動きにも挑戦したいな。</li> </ul> <p>様々な忍術に挑戦して、マット・跳び箱を使った運動遊びを楽しむことができた。</p> <p>6 片付けをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習を振り返り、自分の動きや行い方の工夫や技能の高まり、友達との協力の視点から、気付いたことや感想を全体場で発表させることで、次時からの学習に生かすようにする。</li> </ul>
振り返る	5		